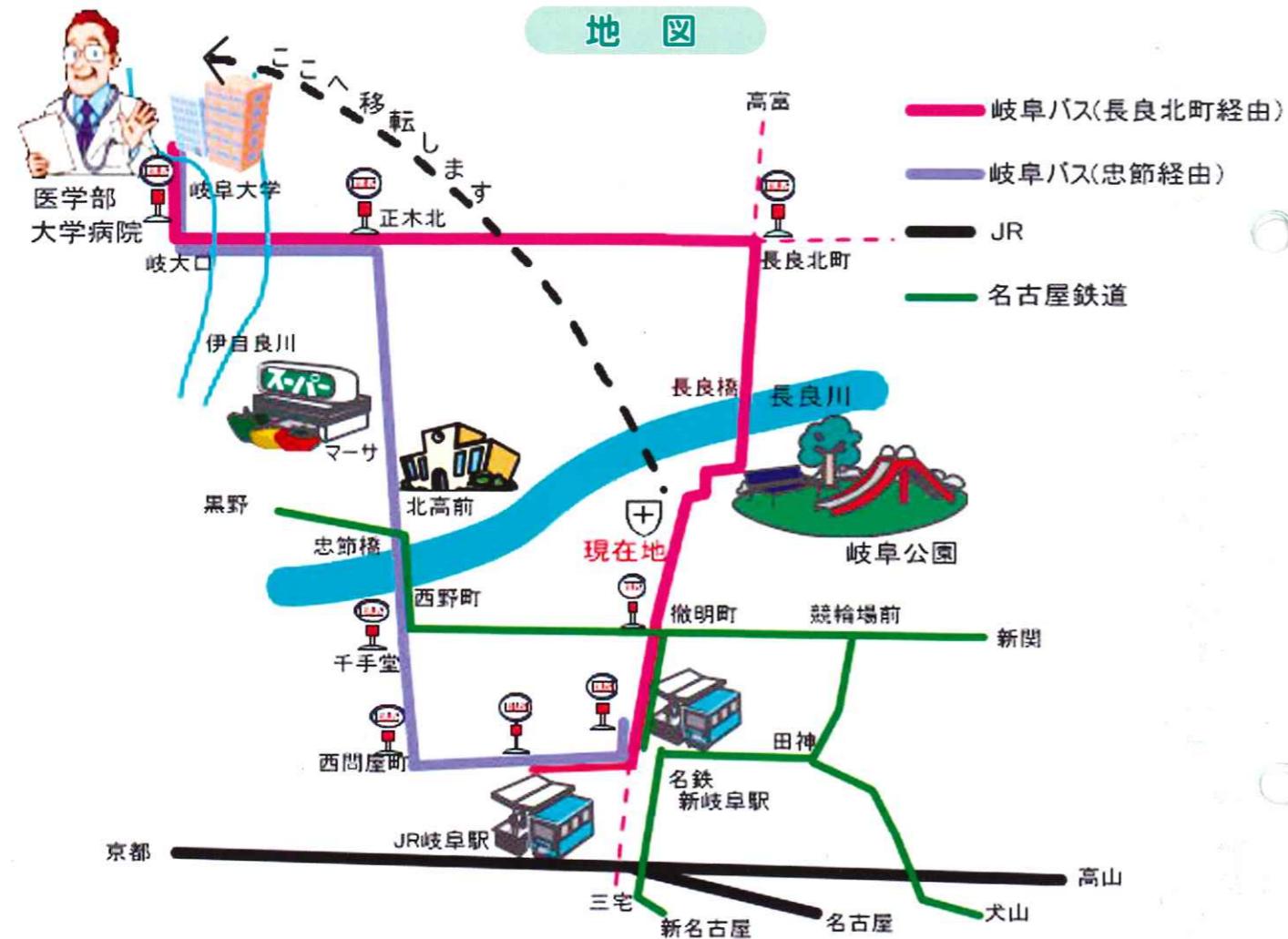


## 新病院までの交通案内

現在、JR岐阜駅及び名鉄新岐阜駅から新病院までの新設路線及び従来路線の延長内容を、岐阜バス社内で検討されています。その検討内容は、次のとおりです。

- ①岐大病院線が新設されます。名鉄新岐阜駅構内を起点とし、岐阜駅-西問屋町-千手堂-忠節橋を経由する新病院行です。
- ②岐南町線の路線延長があり、三宅を起点とし、新岐阜-徹明町-長良橋-岐阜大学経由による新病院行です。この路線は、岐大口経由による新病院行も数本増設されます。
- 運賃はいずれも310円(JR岐阜駅・名鉄新岐阜駅から新病院間)



JR岐阜駅1階ステーションプラザ内に『岐阜大学医学部移転案内所』を開設しています。案内所では、医学部及び附属病院の移転に関する最新情報を提供しています。スタッフが毎日(午前8時30分~午後5時)いますのでお気軽に立ち寄りください。

UBUNE MARCH 2004 Vol.6

2004年3月1日

岐阜大学医学部附属病院

うぶね

鵜舟

病院広報 鵜舟第6号  
平成16年3月1日発行  
発行／岐阜大学医学部及び医学部附属病院広報委員会  
〒500-8705 岐阜県岐阜市司町40  
TEL(058)265-1241(内線2206)

R100  
この印刷物は再生紙を利用しています。  
PRINTED WITH SOY INK  
この印刷物は環境にやさしい植物性大豆インキを使用しております。

内科系臓器別診療体制について 2

外来患者様の一日 3-4

写真で見る新病院 5-6

入院患者様にとっての電子カルテシステムとは 7

移転に伴う患者様へのお知らせ 8

移転推進室だより 9

新病院までの交通案内 10

# 内科系臓器別診療体制について

副病院長 森脇 久隆

平成16年6月1日新病院の開院とともに、内科系診療科は外来・病棟とも臓器別診療体制に移行します。従来の第1内科、第2内科、第3内科、高齢科、総合診療部、放射線科から、消化器、循環器、腎臓、呼吸器、血液、東洋医学、糖尿病・内分泌、免疫・膠原病、神経内科・老年、放射線の各科に立て替えられ、たとえば外来の内科ゾーンは図に示すような配置となります。

目的は言うまでもなく、受診する側から見た分かり易さです。現病院での診療科・診察室配置は、止むを得ない事情があつてのことでしょうが、同じ臓器の病気でもそれこそ曜日によって場所が異なるという可能性もあります。新病院では、どんな担当医も臓器別に決められた診察室に出向く訳で、その診

察場所では常に同一臓器の診療が行われることになります。さらに、現在の診療科の枠を超えた臓器別の合同診療も可能となり、たとえばコンサルテーション能力も一層向上することが期待できます。患者サービス上不可欠の診療体制が、ようやく本院でも確立される訳です。以後は、特にソフト面で齟齬が生じ、運営に支障をきたすことがないよう、各位の努力・支援に期待する次第です。

なお、以下はあくまで私見ですが、診察室の配置も将来的には柔軟であるべきでしょう。病棟では各診療科の固定病床を減じ、共通床を増床して入院の変動に対応するという措置が導入されました。外来でも疾病構造の変化や診察需要の変動に臨機に対処できることが望まれます。

内科外来ゾーン配置図



診は診察室、検治は検査治療室の略

CCS:クリニック・クラークシップの略

学生が診療チームの一員として参加する  
「診療参加型臨床実習」を指す

## ~外来患者様の一日~

(受付→診察→検査→料金支払い一次回予約)

### 1.新病院は近未来型の病院です。

新病院は本格的な電子カルテシステムが稼動する全国でも例のない病院に変身します。新病院では従来の紙カルテは一切使用しません。医師や看護師、他の医療従事者は全員、コンピュータを用いて患者様の診療記録を作成・保存します。また、新病院の中ではレントゲンフィルムなども一切使用しません。フィルムの代わりにX線画像やX線CT画像などをすべてコンピュータの画面に表示します。従来の紙カルテやフィルムをすべてコンピュータ画面に置き換えて診療を行うことにより、病院内での情報伝達が迅速になります。紙カルテの搬送がなくなります。また、検査結果や画像診断結果などがすぐに担当医に届けられるようになります。患者様が診察室にられたときには、担当医は電子カルテを開け、すば

やく患者様のこれまでの診療内容を確認し、検査結果を見ることが出来ます。この結果、患者様の病院内での待ち時間が大幅に短縮され、効率よく診療を受けていただく環境を提供できるものと信じております。

### 2.新病院では診察券が変わります。

新病院では診察券が変わります。これまでの診察券を医事課窓口で新しい診察券(ライトカード診察券)に変更してください。新病院で用いる新しい診察券は、表にはこれまでの診察券と同様に患者様のお名前や患者番号(バーコード)を記載しておりますが、裏面を使って患者様を診察室や検査室、会計窓口や薬剤部などにご案内する機能を追加しました。また、次回診療予約内容も裏面で確認できるようにしました。診察券の裏面を利用して、患者様にきめ細かく院内のご案内が出来るように工夫しました。



新しい診察券(表面)の例  
開院時には変更される可能性あり



診察券の裏面例  
(再診受付機を通った場合)



診察券の裏面例  
(当日の診療をすべて終わった場合)

①ライトカード診察券と再診受付機、到着確認機、50インチプラズマディスプレイ装置を利用した患者様の院内案内システムを新しく導入しました。

再診受付機は病院1階の入り口に設置されます。到着確認機は1階の総合案内、放射線部や薬剤部、2階の総合案内、各外来受付ブロック、検査部などに設置されます。50インチプラズマディスプレイ



再診受付機



到着確認機



50インチプラズマディスプレイ

は病院1階の会計窓口や各ブロックの待合エリアに設置されます。

新病院では患者様の待ち時間を最小限にするため、各科の診療を原則予約制とし、スムーズな診療を進めよう努力します。

①予約有りの患者様が来院された場合には、再診受付機あるいは院内の各外来ゾーンに配置された

# 写真で見る新病院

## ~外来患者様の一日~

(受付一診察一検査一料金支払い一次回予約)

到着確認機に診察券を通して下さい。診察券を通すだけで受付が完了し、診察券裏面には当日の受付番号と各科での診療予定時間と診察室番号が印刷されます。診察券裏面の案内文に従って、指定された場所でお待ちください。50インチプラズマディスプレイで、担当医と診察室の番号、診療の進捗状況を案内させていただきます。また、診察前検査がある患者様の場合には直接検査室へ行っていただく場合があります。そのときには、診察券裏

面の案内に従って検査室へ行き、検査室受付前の到着確認機に再度診察券を通して下さい。これで、患者様が検査室受付に到着されたことを確認し、その後の案内を係員からさせていただきます。  
 ②予約無しで来院された患者様は再診受付機で画面の指示に従って当日予約をして下さい。初めて来院された患者様、診察券はあるが初めての診療科を受診される患者様は初診窓口にお越しください。

### ▼50インチプラズマディスプレイによる外来患者様案内表示画面例



自動収納機

### 4. 診察券の裏面はリライタブル

新病院では1階や2階のゾーン毎に到着確認機を配置しております。患者様へのご案内は診察券の裏面に順次提示させていただきます。患者様が院内で、次に自分はどうしたらいいのかと迷われたときには、どうぞ遠慮なく病院職員に気軽にお聞きください。

### 5. 診療後の流れ

診療後は次回予約を取って下さい。会計やお薬のある方はまず会計窓口にお越し頂き、到着確認機に診察券を通して下さい。係員が会計をさせていただきます。自動収納機をご利用いただくことも可能です。

自動収納機に診察券を通すことにより、画面に従ってお支払いいただくことが可能になります。また、お薬がある患者様にはお薬の引換券をお渡しします。薬剤部の前でお待ちください。薬剤部前の画面に従って、お薬の引き換えをさせていただきます。

お薬を受け取られた患者様、あるいは会計を終わられ病院を出られる患者様は近くのブロック受付機に診察券をお通しください。次回診療予約情報を診察券裏面に印刷させていただきます。

### 6. おわりに

新病院を受診されるときの患者様の流れはご理解いただけたでしょうか。病院職員自身もしばらくは不慣れで、患者様にご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。新病院の運用を温かい目で見守っていただければ幸いです。



■新病院外観（雨天でもぬれないよう車寄せに屋根があります）



■1階総合診療部周辺



■玄関



■外来受付



■小児科、産婦人科、中待合い廊下  
(診察室はプライバシー保護のため扉付きの個室仕様です)



■外来総合案内(内科)

# 写真で見る新病院



■ 4 床室

- ・ベッドサイドには電子カルテも見れるテレビと小型冷蔵庫を設置します
  - ・固定式収納庫と間仕切りで落ち着いた個々の空間を確保します



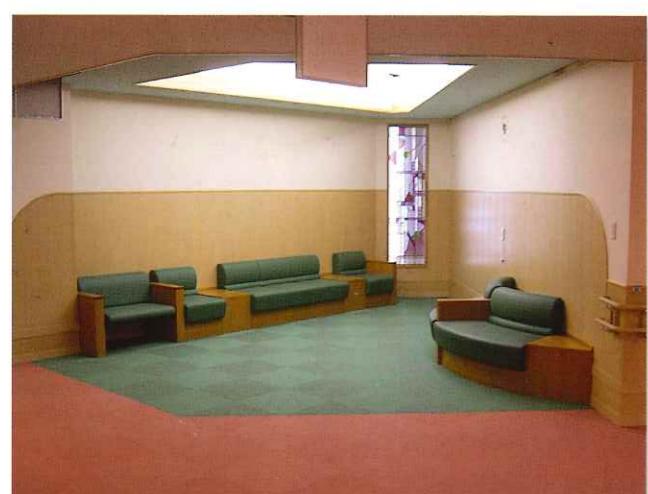
#### ■ 4 床室トイレ内の 採尿自動検査装置



### ■ 病棟スタッフステーション (オープンカウンターで対応しやすい構造です)



## ■ 病棟内ダイニングルーム (患者様毎に目の前で配膳します)



### ■ 病棟面会コーナー (ステンドグラスが美しい光を取り入れます)

## 入院患者様にとっての電子カルテシステムとは

1.新病院は近未来型の病院です。

新病院のベッド脇には17インチの液晶画面テレビが置かれています。普段は通常のテレビとしてお使いください。時々、そのテレビは電子カルテ端末になります。新病院のコンピュータシステムにつながった電子カルテ端末では、患者様がご自身の診療計画や検査結果などを見ることができます。また、食事のメニューをこの電子カルテ端末から選択できるようになります。このようなサービスが本格的に稼動するのは12月1日からですが、各ベッドの横に置かれた電子カルテ端

新病院では、入院患者様に対する診療  
計画表をクリニカルパスと呼んでいます。

クリニカルパスは、入院期間中に行う処置や手術、その他の診療・看護行為内容を日別に列記したものです。

新病院では基本的に、このようなクリニカルパスに基づいて診療を進める予定です。

診療計画を入院患者様にも充分に理解頂き、科字的根拠に基づいた質の良い医療を進めたいと考えています。

開院時には画面内容等が変わることがあります。

3、入院患者様は腕にはリストバンド、手にはICカードを持つていただきます。

入院期間中は患者様に手術や様々な処置等を行います。また、お薬を飲んでいただいたり、輸液や注射なども行わなければなりません。このような行為を安全に行うため、すべての入院患者様には今と同じようにリストバンドをしていただきます。例えば注射をする場合には、医師や看護師は携帯端末を使ってまず自分の名札から職員番号を読み取り、次いで患者様のリストバンドから患者番号を読み取り、コンピュータに登録されている患者様用の注射薬と職員が手にしている注射薬を照合し、一致した段階で実際に注射を行うという手順を踏みます。輸液や各種処置でも同様の手順で実施します。これにより、安全な医療を患者様に提供するだけでなく、そのような行為そのものを記録に残し、より良質な医療を提供するための参考データとして後利用させていただくことを目的としたものです。

患者様への診療計画表、検査結果などはベッド横の電子カルテ端末を利用すれば患者様ご自身で見ることが出来ます。しかし、これら情報は患者様の個人情報です。したがって、このような情報を見るためには患者様ご自身であるか、あるいは患者様を担当する医師や看護師であるかなど、その身分を確認する必要があります。

末は新病院の電子カルテ用コンピュータと光ファイバーで接続されており、このような方式は世界で初めての試みです。新病院での入院生活をお楽しみ頂ければ幸いです。

## 2.電子カルテ端末で見る診療計画表ってどんなもの?

入院生活の過ごし方や診療計画の内容については、担当医や看護師から口頭で説明を受けるだけでなく、ご自身でベッド脇の電子カルテ端末から確認することができます。当日の検査予定や検査内容の概略を事前に知ることができます。

そのために、新病院では病院職員と入院患者様は全員がICカードを所持することになります。電子カルテ端末を利用する場合は、ICカードをコンピュータに差込み、利用者認証が完了した時点で検査結果等が閲覧可能になります。操作方法が不明な場合には職員がお手伝いをします。遠慮なく、声をかけてください。

担当医が患者様に検査結果等を説明するときにも、電子カルテ端末を使用します。電子カルテ端末はテレビ機能と一体になっております。病院職員が電子カルテを利用するときには、患者様のテレビの視聴にご迷惑をお掛けすることになるかもしれませんが、ご容赦ください。

4.電子カルテ端末はホテルのテレビと同じです。

ホテルに泊まると、室内テレビでホテルの案内やサービス内容、チェックアウト時の宿泊費用明細を見ることが出来ます。新病院でのベッドサイド横の電子カルテ端末も同様の機能を持っております。患者様毎のクリニックパスだけでなく、退院時には入院費用明細書を見ることが出来ます。

入院生活を楽しんでいただきながら、同時に新病院が提供する診療内容に充分なご理解を頂き、患者様と一緒に大学病院にふさわしい良質な医療を展開したいと希望しています。岐阜大学の新病院にぜひご期待ください。

## 移転に伴う患者様へのお知らせ

岐阜大学医学部附属病院は、かねてより岐阜市北西の柳戸にあります岐阜大学本部との統合移転計画を進めて参りましたが、ようやく全国初の完全な形の電子カルテを備えた新病院が完成し、平成16年6月1日に開院の運びとなりました。

この病院移転に伴う引越し期間中は、大学病院本来の機能と安全な医療の提供が困難となり、しかも現在の旧病院は敷地も建物も狭いため患者様の安全を十分に確保できないことから、やむを得ず次の期間は、外来及び入院診療を休診することとしました。

### 外来全科休診

平成16年4月2日(金)17時～5月31日(月)まで

### 入院全科休診

平成16年5月15日(土)～5月28日(金)まで

なお、休診期間中には患者様に不利益が生じない様に、地域医師会の御協力のもと他の医療機関に御紹介申し上げるなどして万全の体制で臨みますので、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

患者様の病院移転に関しますご相談は何でも、  
下記の窓口で対応させていただきますので、ご利用ください。

### 《休診期間前の相談窓口》

(1) 平成16年5月14日(金)17時まで

#### 相談時間・窓口・連絡先

平日の8時30分から17時まで  
医療福祉支援センターへご相談ください  
**☎ 058-267-2939・2970**

左記以外  
夜間・休日受付窓口へご相談ください。  
**☎ 058-267-2779**

(2) 平成16年5月14日(金)17時以降は、新病院でご相談をお受けいたします。

#### 相談時間・窓口・連絡先

平日の8時30分から17時まで  
医療福祉支援センターへご相談ください  
**☎ 058-230-7033・7034**

左記以外  
夜間受付窓口へご相談ください。  
**☎ 058-230-7030**

なお、休診期間前の患者相談につきましては、

- ・外来患者様は、外来担当医又は医療福祉支援センターにご相談ください。
- ・入院患者様は、主治医又は医療福祉支援センターにご相談ください。

## 移転推進室だより

平成12年度に各関係機関の協力を得て着工した、免震構造9階建の病院本館は、平成15年9月に完成し、各設備の試運転・点検調整等を終えて、12月に施設部から引継ぎを受けたところです。駐車場、構内道路、植栽等の環境整備工事も順調に進んでおり、平成16年3月にはすべての工事が完了します。

これからは、昨年契約した医療機器、建物新営に伴う設備、什器類等が順次納入され、3月末までには開院に必要な新規購入物品が整うことになります。

また、3月初めには移転作業の業者も決まる予定であり、4～5月にかけての移転に向けての準備が間もなく始まります。約2ヶ月間の移転作業期間中は、外来診療の休止、入院患者の一時転院が実施されるため、既に入院患者の調整が行われている診療科もあります。

新病院での電子カルテ運用に必要な新医療情報システムの研修も、3月からは各部門代表者による部門別研修、4月からは一般ユーザーによる全体研修、5月からは模擬患者参加リハーサルが行われる予定であり、最先端の電子カルテシステムを活用した次世代のインテリジェントホスピタルの開院準備が着々と進んでいます。

併せて工事中の医学部本館も平成16年1月に完成し、看護・職員宿舎が3月末に、医学部生命科学棟が12月にそれぞれ完成する予定です。残る医学部教育・福利棟も平成16年度に予算化され、これにより医学部・同附属病院の計画建物は、平成17年9月にはすべて完成することになります。

